

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 京都府京都市立下京雅小学校
活動名： 学校文化の創造にむけて～行事の再編と自主発信型研修～
解決すべき課題： 新学習指導要領において、教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントが重要であるとされている。統合4年目。新たな学校として、積極的な学校文化マネジメントを推し進め、学校教育の土台・礎を築いていくことが喫緊の課題だととらえている。
目標・方針： 一人一人の教職員が、年間を見通し（俯瞰し）、行事をつなぎながら、学校教育目標を目指す資質能力の育成を図ることをねらいとして、カリキュラム・マネジメントを進める。また、行事の再編を行い、新たに「下京雅五大フェスティバル」を創造する。さらに、一人一人のマネジメント力の向上を目指して、教職員一人一人の主体性を引き出す研修のあり方を探る。 1. 年間を見通し、内容やつきたい力でつなぐ下京雅スタンダードの作成 2. 既存の行事を再編し、地域・保護者・子どもをつなぐ下京雅五大フェスティバルの企画・実践 3. 教職員一人一人の自主性を高める研修スタイルの確立
活動内容： 1. 学年が主体となり、年間学習指導計画（関連単元配列表：下京雅スタンダード）を作成、フィードバック、改善、実践という流れで、学校教育を進めていく。また、各分掌で活動計画を作成、それをまとめたスケジュールマネジメントを作成する。 2. これまでの行事を再編し、教科・領域で学んだ成果を発信する場としての下京雅五大フェスティバルを体系化【図1】、各リーダーが中心となって企画・運営を行う。また、児童が資質・能力についての振り返り、身についた力についてのメタ認知を行う。 3. 下京雅五大フェスティバルを地域・保護者に向け、積極的にアピールするとともに、保護者アンケートを活用し、下京雅五大フェスティバルの改善を図る。 4. 自主発信型研修【下京雅サミット】の開催
活動の成果： 1. 教職員一人一人の学校運営への関わりが強くなった。カリキュラム・マネジメントについての実践をまとめたプレゼンテーションを作成し、校内や研究発表会で発信した。【図2】 2. 五つの行事をつなげることで、教科等横断的な学びとなった。また、自校が育みたい資質能力を直接的に指導しやすくなった。児童は、身についた力を自分で振り返り、さらに高めることができた。【写真1】 3. アンケートの結果を次年度に生かした運営で、地域・保護者の満足度が向上した。【図3】 4. 自主発信型研修の開催により、自身の学びを整理し、発信する力が身についた。【図4】
アピールポイント（アイデアや工夫）： 1. 学校教育目標に迫るために、必要な教育活動を厳選し、学習効果の最大化につながる。 2. 昨年度の実績を基にしたスタンダードを作成することで、持続可能な教育活動の実現が図られるとともに、実践の質を高めることができる。 3. 学校教育活動の大きな柱となる五大フェスティバルは、学校文化として根付いていく可能性がある。 4. 教職員一人一人のマネジメント力が高まり、学校教育目標の達成が図られる。

【図1】下京雅五大フェスティバル ポスター



音楽発表会
 運動会
 人権集会
 学習発表会
 作品展

を各教科の学習の成果を発信する場として体系化

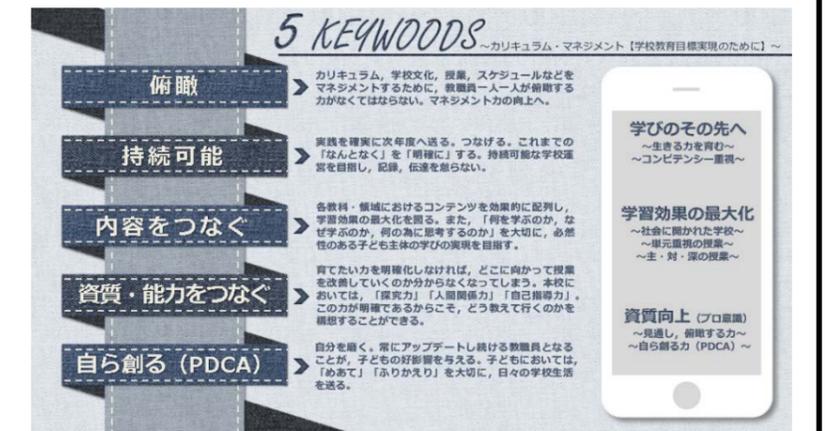
それぞれのフェスティバルで資質能力のめあてを設定し、振り返りしながら進めた。

【写真1】児童による資質能力に対する振り返り



カリキュラム・マネジメントの実践をまとめたスライドを作成、発信。内容としては、
 ●大切にしたい五つのキーワード
 ●内容をつなぐ
 ●資質・能力をつなぐ
 ●関係単元配列表の作成について
 ●カリマネの研修の実践について など

【図2】カリキュラム・マネジメント プレゼンの一部



【図4】自主発信型研修 下京雅サミット パンフレット

【図3】下京雅五大フェスティバル 保護者評価 一部

